



# チームカ合

～学校教育目標～

「気づき 考え 進んで行動する子どもの育成」



カ合小学校だより NO.17

令和5年2月10日

児童数：533名

文責：校長 馬場康弘

## ダメ。ゼッタイ。

2月2日（木）に6年生で薬物乱用防止教室を行いました。例年この時期に6年生を対象として実施しています。こころの健康センターより相馬優太郎様を講師としてお招きし、「依存症ってなあに？」という演題で授業をしていただきました。



### どうして依存してしまうの？



子どもたちの身近にある酒やタバコを中心に、依存症の怖さについて科学的にご説明いただきました。また、子どもたちは、実際に誘われた場合の対応の仕方についてロールプレイで疑似体験をしながら理解を深めていました。

薬物を乱用すると、自分の意志では止められなくなってしまい、脳に大きなダメージを与えてしまうことは明確な事実です。それを防ぐ意味でも、「ダメ。ゼッタイ。」は薬物乱用を防止するキャッチフレーズとなっているのです。

## トネリコの今！

合志市にある九州育種場で管理されているトネリコの木の詳細をお知らせします。



一昨年の11月に伐採したトネリコの木から挿し木していただいていたのですが、現在5鉢に植えられ、しっかり根付いているそうです。冬なので落葉していますが、丈は7～8cm程になっているそうです。生長するには、もうしばらく時間が必要と言われました。トネリコの木はカ合小のシンボルツリーですので、来年度何とか植樹祭ができればと思っています。

また、2025年度には、カ合小学校創立150周年を控えています。その時に、先代のトネリコの木が多くの子もたちを見守ってきたように、新しいトネリコの木が、未来のたくさんの子もたちを見守ってくれることを切に願っています。



令和5年度新入児童保護者説明会を3年ぶりに対面で実施することができました。一堂に会して話し合いができるありがたさを感じたところでした。ご入学を心よりお待ちしております。

## 2月全校朝会校長講話

R5.2.7



テーマ：今の学級に期待すること

おはようございます。早いもので2月に入りました。先日2月4日は立春で、暦の上では春になりました。ただ、春と言ってもまだまだ寒い日がありますので、もう少しの辛抱ですね。

さて、3学期の始業式に、「3学期は次の学年の0学期」というお話をしましたが、覚えていますか？今の学年のまとめと次の学年（学校）に向けて準備をしっかりとしましようというお話でした。3学期も学校に登校する日は、あと30日程となりました。本当に残り少なくなりましたね。

そこで、今日は、「今の学級に校長先生から期待すること」についてお話をします。みなさんは、ただ何となく同じ学級にいるのではありません。同じ年にこの日本に生まれ、熊本県の中でも熊本市に住み、この力合小へ通わなかったら、一生出会うことがなかったかもしれない仲間なのです。まさに奇跡的に出会った仲間なのです。しかし、4月にはクラス替えがあり、新しい学級になります。今こうして学級の仲間と一緒に過ごすのもあと30日程なのです。

この1年、みなさんの様子を見てきて、どの学級もきらりと光る素晴らしい面を持っていることに気づきました。友達のことを自分と同じように大切にできる学級、いつも教室がきれいに整頓されている学級、あいさつが元気よくできる学級、朝からボランティア活動に取り組む学級、いつもかかとを揃えて靴を下駄箱に並べている学級など、それぞれの学級で違いはありますが、立派な成長を見せてくれています。どれも「気づき 考え 進んで行動する姿」です。一方で、どの学級もあと少しですが課題もあります。その課題は、時間を守ることや廊下の歩き方、気持ち

のよいあいさつ、言葉遣い、人の話を最後まで聴くこと、友達関係のことなど、学級によってそれぞれ課題も全く違います。

そこで、校長先生が残りの30日で学級に期待していることは、自分の学級の課題を自分たちの力で解決してほしいということです。課題の大きさや学年の差にもよりますが、何事も先生に教えてもらうばかり、解決してもらうばかりでは、本当の力は付きません。たとえその場はうまくいってもまた同じ課題にぶつかったときに、困ってしまうことになるでしょう。課題を自分たちで解決するというのは簡単なことではないかもしれませんが、ぜひチャレンジしてください。チャレンジすることに大きな意味があるのです。その時大事なことは、学級のみんなの心が一つになり、力を合わせることです。もう一度言います。学級のみんなの心が一つになり、力を合わせることです。

最近、校長室で仕事をしていると、3月の「とねりこ音楽会」に向けて練習している音がよく聞こえてきます。初めはなかなか音が合わないようでしたが、練習を重ねるうちにだんだん音が合ってきました。それはきっと学級の皆さんの心が一つになって、力を合わせている結果だと思っています。だから、みなさんは、自分たちの学級の課題を解決できる力を持っていると自信をもって言えるのです。そして、その課題が解決できたとき、さらにみなさんの絆は深くなることでしょう。

さあ、前だけを見て進みましょう。みなさんの後ろには、いつも先生方が温かく見守っておられます。安心して前へ進んでください。

☆6月・11月・2月は時期的なことが関係しているのか、子どもたちの心がやや落ち着きに欠け、生徒指導上の問題が増える傾向にあります。子どもたちが何かサインを出していないか、ご家庭と学校がより連携して一緒に観ていきましょう。